

公益社団法人埼玉中央青年会議所  
2025 年度理事長立候補者所信

立候補者氏名 高子 景

基本理念

Beyond Expectations～未来への挑戦～

基本方針

1. 創立 30 周年、国際都市への挑戦
2. 持続可能な地域社会への再構築
3. 果敢に挑戦する人材の育成

【はじめに】

私たちが目指してきたのは真の自立都市の実現です。その手段のひとつとして埼玉県で初となる政令指定都市設置を目標に掲げ、机上の政策提言にとどまらず、実際に政策を実践するため、埼玉中央青年会議所が創造的変革の一環として設立されました。この行動は、希望をもたらす変革の起点となり、地域社会に英知と勇気と情熱を注ぎ込む JAYCEE の模範的行動であり私たち現役世代にとっての誇りのひとつです。

創立から 30 年の節目を迎える今、私たちは創始の精神に立ち返り、この地域に対して、そして私たち自身に対しても、新たな創造的変革をもたらす必要があります。

【創立 30 周年、国際都市への挑戦】

都市の国際化は、交流人口の増加に不可欠な要素であり、国際的な魅力を持つ都市として、文化的多様性を促進し、国際的ネットワークを形成することが重要です。

創立 30 周年を迎えた今、次の 10 年に向けて、私たちは国際的ネットワークを先導する組織として、青年会議所のスケールメリットを活かした運動を展開することで、この地域が世界へ向けて飛躍するための新たな一歩を踏み出します。

特に今年は創立から 30 年を迎える節目の年です。私たちが目指す新たな都市像やまちづくりの目標について、行政関係者をはじめとする地域諸団体や地域市民に示すことで、この地域の未来を先導する組織として、今一度未来に向けた新たな一歩を踏み出せるのです。

【持続可能な地域社会への再構築】

私たちが住み暮らす地域は、魅力に溢れています。しかし、多くの地域市民は、他の都市と比較して自分たちが住み暮らす地域に対する自信や誇りを持っているとは言い難い状況にあります。日本人としての謙虚さは美德とされていますが、それが市民としてのシビックプライドの形成を妨げてしまっているように感じます。歴史的資産や文化的資産、食

文化が豊富であるにもかかわらず、これらの魅力が十分に活かされず、交流人口は低い水準が続いています。私たちはこの地域の潜在的なポテンシャルをさらに引き出し、活用することで誰もが訪れたい魅力的な都市への足掛かりとします。

また、若者の意見を政治に反映させるためには、若者世代の政治参画が非常に重要です。特に埼玉県投票率の低さは全国でも突出しており、政治参画への意識の低さが露呈しています。それでも、若者世代の投票率を上げることで、若者の意見を政治に反映させるために大きな影響を与えることができます。そのため、より多くの若者が政治に興味を持つための機会を提供することで、投票率を底上げし、政治参画を促します。

そして、コロナ禍の影響により、社会での孤立が深刻化し、若年層の自殺者数の増加、ヤングケアラー問題の顕在化、出生率の減少といった社会課題が浮上しています。私たち大人は、子供たちや若者たちが社会から孤立せず、安心して成長できる環境を提供する責務があります。多くの子供たちや若者たちが、様々な体験を通じて、日本人としての誇りや自覚、創造性と多様性に溢れる価値観を育むことが、自己肯定感や自己有用感を高める鍵となり、次世代の地域を担う人材育成につながります。これらの経験は、彼らが幸せな状態（Well-being）で成長するための基盤をつくり、こどもまんなか社会の実現に貢献することができます。

#### 【果敢に挑戦する人材の育成】

青年会議所が地域社会にとって欠かせない存在として選ばれ続けるためには、時代や社会の先頭を切って、自分たちにしかできないことを見つけ出し、果敢に挑戦し続ける人材を輩出し続けることが必須です。そのためにも、会員の拡大は極めて重要であり、埼玉中央青年会議所がこれまで紡いできた歴史を未来へと引き継ぐためには、全員が高い拡大意識を常に持つことが重要です。

また、質の高い活動や運動は、私たちの個々の知恵や能力だけではなく、議論や意見交換の中で育まれます。青年会議所は、様々なバックグラウンドや考え方を持つメンバーが集まり、意見を出し合いながらより良い方向に向かって進んでいく場です。そのため、効率的な会議運営や組織運営が重要となります。多様な意見を取り入れることで、より建設的な活動や運動を実現していきます。

さらに、広報活動は、青年会議所が取り組む活動に関心を持つ様々な団体や地域市民から共感を得るための有力な手段です。広報活動を通じて、青年会議所の価値観や理念が広く社会に浸透し、共感を呼び起こすことができます。また、SNSの発展によってオウンドメディアの重要性が増している中、会員一人ひとりが適切なリテラシーを学び、それを活用することで、より多くの共感を得ることができます。広報活動を通じて青年会議所が社会との連携を深めることで、共通の目標を実現するための原動力とします。

#### 【結びに】

メンバー一人ひとりが青年会議所を通じて、地域に対する想いや夢を実現していくことが、必ず明るい豊かな社会を創造するための礎となると信じています。私は、青年会議所がそのような想いや夢を実現する場であり、メンバーが自己実現を果たすための絶好の機会であって欲しいと強く願っています。私たちが青年会議所で学び、成長し、活動するこ

とで、地域の未来に明るい光を灯すことができるのです。だからこそ、「どんどん青年会議所を活用しよう！」という想いを共有し、行動していきたいと考えています。

2025 年は私たちの我々にとって 30 周年を迎える重要な年です。私たちの力を結集し、地域社会に新たな価値をもたらすために、この 30 周年を創造的変革の年としましょう。